

中学校の2019年度用の教科書を選定しています

「道徳」教科化で中学校で初の教科書

来年度から中学校で使用する教科書の選定作業が行われています。この教科書の展示会が7月2日まで愛知県下の各会場で行われています。「道徳」が2018年度から正式教科となり、中学校での選定も初めての作業となり、道徳の授業で 사용되는教科書に注目が集まっています。

中学校「特別の教科 道徳」教科書の発行社			
発行社名	判型	ページ数	検定意見数
日本教科書	B5	588	67
教育出版	B5	574	18
東京書籍	AB	586	19
廣済堂あかつき	AB	732	10
日本文教出版	B5	732	4
学研教育みらい	A4	560	34
光村図書出版	B5	704	4
学校図書	AB	688	28

愛国へ日本礼賛 続々

文科省の教科書検定審議会に申請したのは8社で全社が合格しました。検定意見は184件（昨年の小学校では244件）でした。学習指導要領に規定された22の徳目を満たそうとしています。「我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度」などの項目に対し「日本（人）は素晴らしい」という読みものを並べ、最後の設問で国を愛する方向へ誘導する構成が目立っていると指摘されています。他の国の良さを載せようにも「我が国の」という規定で限定されているため困難ともいわれています。

また8社中5社（右表の上5社）が生徒が数値や記号で「自己評価」する欄を設けました。生徒の内心を数値で評価させるものになり、国家が目指す価値観を押し付けることになりかねません。

道徳教育は個人の尊厳を基礎にして

道徳の教科化は、これまではなかった検定教科書を使用して道徳を教え、かつ、これまで行ったことがなかった一人ひとりの子どもの心や道徳を評価するものです。従来とは次元の違う形で、子どもに「官製道徳」を押し付けるものです。

市民道徳の基準は、国民的な討論と合意によって形成されるべきもので、市民道徳の教育は、子どもを個人として尊重しつつ、自主的で多様なものとして進めることが重要です。

反道徳的な出版社が道徳の教科書？

命の大切さを知ってほしい、思いやりの心を持ってほしい。多くの保護者は子どもにそんなことを願っています。安倍政権が進める「道徳の教科化」は、そのような保護者の願いに応えるものなのでしょうか。

今回合格した8社のうち「日本教科書」は新規参入の出版社ですが、侵略戦争賛美の育鵬社の歴史・公民教科書と深いかわりがある「日本教育再生機構」の理事長（八木秀次・麗澤大学教授）が代表取締役となって設立した会社です。その後、八木氏は代表取締役を退任し、「マンガ嫌韓流」シリーズ等のいわゆるヘイト本を多数発行している晋遊舎の代表取締役・竹田義輝氏に交代しています。反道徳的な会社に関連する会社が子どもの道徳教科書を出版することは異常という声が広がっています。

教科書展示会で意見が出せます

展示会を見て不適切な内容があると感じたら、その教科書を採択しないしてほしい、等の意見を出すことができます。

子どもの年齢にふさわしい内容か、科学的な視点か、型にはまった心や行動の押しつけになっていないか、課題解決が誘導的でないかなど、この機会に教科書を見てみましょう。



6月8日(金)～7月2日(月)の教科書展示会に出かけましょう

展示会場で意見・感想が出せます 図書館の開館時間中。月曜休館。教育センターは土日休み。

一般市民向けの教科書の展示会は、6月8日から7月2日まで県下の各会場ですべて開かれます。展示会では全教科の教科書が展示されていますが、今回の選定は「道徳」のみです。この展示会では、市民の意見を出すことができます。名古屋市内の会場を紹介します。



教科書センター	教科書の展示会 6月8日(金)～7月2日(月)			
	展示教科書の種類			
	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
鶴舞中央図書館(昭和区)	○	○	○	○(知的障害者用のみ)
西・中川・南・天白図書館	○	○	×	○(知的障害者用のみ)
港図書館	○	○	×	×
名古屋市教育センター(熱田区)	○	○	×	○(知的障害者用のみ)